

●背景・課題

- ・ 小名浜まちづくり市民会議は、まちづくり活動の中心主体として20年以上にわたり様々な活動を続けてきたが、メンバーの高齢化が進み、会員の拡大は急務となっている。
- ・ 市民会議では、会議や集会の主な時間帯が夜であるため、若者や女性の入会や定着が困難という問題もあり、参加しやすい方法、根付きやすいあり方の検討が必要とされる。
- ・ 市民会議以外にも、個人やグループ・団体、企業等の活動を通じてまちの活性化に貢献しようとする意識を持つ人は潜在しているはずで、それらの人たちを発掘し、ネットワークで結んでいくことが有効である。

●目標・方向性

まちづくりは地道な継続、その担い手の確保が重要であり、輪を広げること、引き継ぎ伝えることを続けていく。市民会議活動の広報・周知を行いながら、新たな仲間が参加しやすい環境づくりを進め、参加者を募集し増やしていく。企業会員の拡大も含め、安定した自立運営の可能な組織となることを目指す。

●計画内容

★市民会議活動の広報・PR

- ・ 広報誌、インターネット（SNS）、ホームページなどの利活用により、活動内容・事業活動のPRを続ける。活動が市民の目に触れる機会を増やし、参加しようと思うまでのハードルができるだけ引き下げ、気軽に門をたたけるよう、会員が長く居続けられるような工夫をしていく。

★活動の方向性・手法の再検討

- ・ 市民会議が今後も継続してまちづくり団体として活動していくことが可能なあり方、事業や会議の実施方法などを検討、再構築していく。
- ・ 民間企業に対しても、有益性（採算性）以外での参加の魅力は何か、企業として事業に参加しやすい形態を確認していく。

★周辺学校や他団体等との交流

- ・ 市民会議の事業や活動テーマに関わりが深そうな他団体、学校などに働きかけ、共同事業の実施などを通じて共通のテーマを模索し、まちづくりの輪を広げていく。
- ・ 個人やグループ、企業などでまちづくりに関わりのある活動をしている人たちの情報をを集め、それらとの連携を工夫していく。

★まちづくり団体への支援活動要請

- ・ 市民の主体的な活動団体であるが、継続して団体活動が可能となるよう、行政からの適切な支援に関する制度設計を要請していく。
- ・ 事務局運営費用の捻出や、イベント活動以外での補助など、適切な事業活動支援を求める。

●役割分担・行動

市民会議のアクション	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会議活動の広報、新規会員の獲得 ・活動の方向性、手法の検討、民間企業への支援依頼 ・他団体等との交流
民間・一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動への参加
行政への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動の継続に対する様々な形での支援

●タイムテーブル

実施項目	実施主体			実施時期		
	市民	民間	行政	短期 (~5年後)	中期 (5~10年)	長期 (10年後~)
★市民会議活動の広報・PR	○			○	○	
★活動の方向性・手法の再検討	○	○		○	○	
★周辺学校や他団体等との交流	○	○		○	○	
★まちづくり団体への支援活動要請	○		○	○	○	○

※「市民」=主に市民会議



小名浜まちづくり市民会議 総会

11. まちの魅力の情報発信

(共通)

●背景・課題

- ・市民会議では、広報誌やホームページ等により、小名浜の魅力情報や市民会議の活動情報などを発信してきた。広報、情報発信は、市内外や県外からの小名浜のまちへの来訪者の拡大とともに、市民への活動の周知、新規会員拡大活動にもつながり、継続的な実施が必要である。
- ・デジタル時代にあって、市民がやりたいこと、行きたい場所、魅力を探す手法が、スマートフォンやインターネットなどによる比率がますます高まり、それに合わせた情報発信手法を検討していく必要がある。
- ・小名浜まちづくり市民会議と福島ガイナックスの共同製作により、小名浜港に防波堤として沈められた駆逐艦をモチーフにし、作中に地域の名所名物を盛り込んだ小名浜観光PRアニメ「人力戦艦！？汐風澤風」が、YouTubeとニコニコ動画で配信されている。

●目標・方向性

時代に即した様々な媒体を用いて、小名浜のまちの魅力の情報発信、市民会議の活動情報の発信を続ける。見てもらい、気づいてもらい、気にしてもらう、その機会を増やすための仕掛けづくり、媒体の選択などに工夫を凝らすとともに、提供する情報の収集、共有などにも努める。

●計画内容

★ホームページの随時更新

- ・まちを知ってもらう大事な手法として、市民会議事務局でホームページ等の、随時内容、魅力の充実を図り、検索条件の拡充によりヒット回数などを増やし、数多く目に触れる機会を増やしていく。
- ・市民会議だけでなく、その活動以外のまちの情報発信も含めて行い、他団体のイベント等ともリンクさせる。

★細やかな広報誌の発行

- ・地元を中心とした対象の広報誌は、こまめな活動報告、事業周知の意味で、長く目に留まる内容の工夫を行いつつ、2か月ごとの発行を目標として続ける。

★広報手段の検討

- ・デジタル時代に適したインターネット等を活用した広く一般向けの発信手段の利用に向け、Wi-Fiなど周辺条件の整備を進める。
- ・アクアマリンパークに設置のデジタルサイネージを有効活用し、遠隔地での更新や手軽なアップデートが可能な媒体として、また収益ツールとしても利用できるようにしていく。
- ・若年層や海外客まで含めた広い層へのアプローチが期待できる「人力戦艦！？汐風澤風」などを契機に、漫画、動画、マップなど、様々な新しい情報手段や媒体を活用し、多様な形での発信をしていく。

★まちの魅力情報の収集

- ・ ホームページや広報誌などに掲載すべきまちの魅力に関する情報内容の拾い出しに常に努める。そのために、市民会議内での情報共有のほか、自らの活動だけでなく地域のイベント等の情報も積極的に収集し、発信していく。

★他団体・企業との連携・情報共有

- ・ 情報の収集・発信に関して、小名浜地区内外の他団体や企業との連携・協力を深め、相互の情報交換や共有を図り、対外的発信の相乗効果の拡大につなげる。

●役割分担・行動

市民会議のアクション	<ul style="list-style-type: none">・こまめな情報収集、他団体や企業への連携の働きかけ・ホームページの製作、内容の更新・充実・広報誌の発行・多様な広報手段の検討
民間・一般市民	<ul style="list-style-type: none">・まちの情報の提供、共有
行政への要望	<ul style="list-style-type: none">・デジタル時代に適した情報通信環境整備・行政の広報機能との連携

●タイムテーブル

実施項目	実施主体			実施時期		
	市民	民間	行政	短期 (～5年後)	中期 (5～10年)	長期 (10年後～)
★ホームページの随時更新	○			○	○	○
★細やかな広報誌の発行	○			○	○	○
★広報手段の検討	○	○		○	○	○
★まちの魅力情報の収集	○	○		○	○	○
★他団体・企業との連携・情報共有	○	○	○	○	○	○

※「市民」＝主に市民会議

